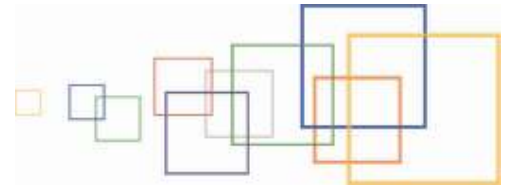


eZ Publish Website Interface

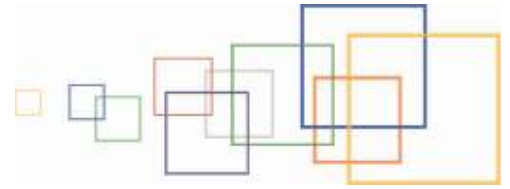
インストール ガイド日本語版

バージョン 1.2



目次

.....	1
目次	2
1. はじめに	3
1.1. eZ Publish と eZ Publish Now について.....	3
1.2. 対象者.....	4
1.3. 表記規則.....	4
1.4. その他のリソース.....	4
1.5. eZ に関する連絡先情報.....	5
1.6. 著作権と商標.....	5
2. Website Interface のインストール	5
2.1. 要件	5
2.2. Linux/UNIX へのインストール.....	5
2.3. Windows へのインストール	6
3. セットアップ・ウィザードの実行	6
3.1. サイトへのアクセス.....	7
4. Website Interface のアップグレード	7
4.1 バージョン 1.2 へのアップグレード(日本語版では、読み飛ばしてください。).	7
4.1.1 アップグレードスクリプトの実行	8
5. eZ Publish の構成	9
5.1. RSS フィードの構成	10
5.2. サイト設定の編集	11
5.2.1. タイトル	14
5.2.2. サイトマップ URL	14
5.2.3. ログイン (ラベル).....	14
5.2.4. メタ・データ	14
5.2.5. ログアウト (ラベル).....	14
5.2.6. 画像.....	14
5.2.7. My プロファイル (ラベル).....	14
5.2.8. スタイルシート.....	14
5.2.9. 新規ユーザー登録 (ラベル).....	15
5.2.10. Email	15
5.2.11. RSS フィード	15
5.2.12. 買い物かご (ラベル).....	15
5.2.13. サイト URL:	15
5.2.14. サイト設定 (ラベル).....	15
5.2.15. 言語の設定	15
5.2.16. フッターテキスト	17
5.2.17. “Powered by”の非表示	17
5.2.18. Java スクリプトフッター	17



1. はじめに

eZ Publish Website Interface は、eZ Publish の拡張機能であり、この機能を使用することで Web サイトのコンテンツを簡単に作成し、保守することができます。Website Interface は、Web サイトのフロントエンドに統合されているので、コンテンツ管理がわかりやすく、簡単に学習できるようになります。ほとんどの Web サイトに関する管理タスクは Website Interface を使用して実行できます。

Website Interface を使用している eZ Publish サイトは、eZ Publish を通常にインストールした場合と、次の点が異なります。

- eZ Publish Now を利用のお客様には、設計およびカスタマイズ機能に制限があります。たとえば、eZ Publish Now サイトでは、サイトの変更は「サイトスタイルパッケージ」に含まれる CSS ファイルを使用しています。そのため、サイトの設計と保守が容易になります。通常の方法を使用してこれらのサイトを変更し、カスタマイズすることもできますが、eZ Publish Now のお客様はデフォルトの構成を使用しなければならないため、「サイトスタイルパッケージ」を使用したカスタマイズだけが可能となります。
- サイトのインストール時に指定した各言語（および 管理者インターフェース）について「サイトアクセス」が作成されます。

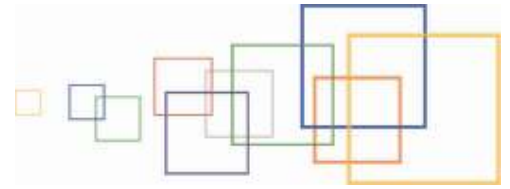
Website Interface は、eZ Publish セットアップ・ウィザードによりインストールされる「サイト パッケージ」として実装されます。単純なサイトのカスタマイズは、管理者インターフェースを介してインポートされるサイトスタイルパッケージを使用して行います。

1.1. eZ Publish と eZ Publish Now について

eZ Publish は、幅広い機能を備えたエンタープライズ・コンテンツ管理システムであり、同一サイトでの複数の作成者、複数のコンテンツ・タイプ（テキスト、画像、マルチメディア ファイル）、コンテンツのバージョン管理、多言語サイトなどをサポートする高度な機能が含まれます。エンタープライズ・コンテンツ管理システムフレームワークとして、eZ Publish は多様なカスタマイズが可能であり、大規模な組織の複雑なニーズを満たすことができます。

eZ Publish Now は、製品（eZ Publish および Website Interface）とサービス（サポート、自動更新、カスタマイズ支援など）を組み合わせたソリューションです。Website Interface は、直ちに使用できるように設計されており、複雑な設定やカスタマイズは不要です。

eZ Publish Now の目的は、eZ Publish が持つパワフルかつ豊富な機能を提供するとともに、複雑なプログラムを行わず簡単にカスタマイズ可能とすることです。eZ Publish Now は、専門的なコンテンツ管理ソリューションをニーズがあるにも係わらず、複雑なシステムを作成し、それを管理するためのインフラストラクチャ、予算、専門要員知識が不足しがちな小規模から中規模の企業に適しています。加えて、標準的な Web サイト、イントラネット、またはエクストラネットを構築するためのソリューションを必要とする大規模な組織にも適しています。何れの場合でも、高い専門知識を有する eZ パートナー各社 と eZ Systems 社が、プロジェクトのライフサイクルを応じてサイト運用を安全かつ円滑に導くための幅広いサービスを提供します。



1.2. 対象者

eZ Publish Now には次の 3 つのマニュアルがあります。

- ユーザー ガイド 日本語版
- インストール ガイド 日本語版
- カスタマイズ ガイド 日本語版

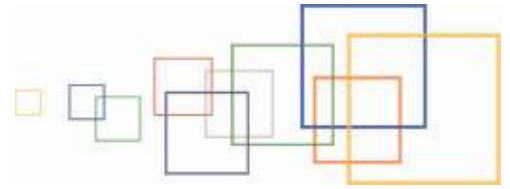
本書 (『インストール ガイド 日本語版』) は、Website Interface のインストールとコンフィギュアに関して説明します。本書は、システム管理者及びテクニカルユーザーを対象としています。

1.3. 表記規則

- コード例、関数、変数名などは「等幅フォント」で表します。
- ファイル名とパスは「等幅斜体字 フォント」で表します。
- コマンドは「等幅ボールド フォント」で表します。
- グラフィック ユーザー インターフェイスの要素 (ボタンやフィールドのラベルなど) は「太字 フォント」で表します。
- コンポーネント名 (アプリケーションやコンテンツ クラスの名前など) は、「Administration Interface」や「Folder コンテンツ クラス」のように先頭を大文字で表します。
- URL の例では、「www.example.com」をご自分のサイトのドメイン名に置き換えてください。
- 本書のスクリーンショットは、ページに合うように、または重要な点を説明するように変更されていることがあります。従って、ご自分のサイトでの表示とは厳密に一致しないことがあります。
- Web サイトの設計はそれぞれのニーズに合わせてカスタマイズできるので、さまざまなリンクの場所の説明が、ご自分のサイトの場所とは一致しないことがあります。そのような場合には、デフォルトのサイト設計での項目の場所を参照していることを明記してあります。

1.4. その他のリソース

- Website Interface または eZ Publish Now については、次のリソースを参照してください。
- eZ Publish ドキュメント: Website Interface は eZ Publish の拡張機能です。共通の機能については、これらのマニュアルでは繰り返し説明していません。ただし、本書では、<http://www.ez.no/doc> にあるオンライン版の eZ Publish ドキュメントへのリンクを必要に応じて記載しています。
- eZ Publish フォーラム: eZ Systems の Web サイトのフォーラムは、eZ Publish ユーザーが互いに支援やサポートを提供するコミュニティ主導の貴重なリソースです。このフォーラムは、<http://ez.no/community/forum> で無料でご利用いただけます。
- eZ Partners によるサポート: eZ のグローバルなパートナー ネットワークは、すべての eZ 製品に関する専門的なサポートを提供しています。パートナーをお探しの場合は、sales@ez.no までお問い合わせください。
- その他の eZ ソリューション: eZ Systems のその他のソリューションについては、<http://ez.no/products/solutions> を参照してください。
- トレーニングと認定: eZ Systems と eZ Partners は、eZ Publish Now 向けのトレーニングコースと認定試験を提供しています。詳細については、sales@ez.no までお問い合わせいただくか、または <http://ez.no/services/training> を参照してください。



1.5. eZ に関する連絡先情報

eZ Systems、eZ Publish、または Website Interface についての技術的な質問は、次までお寄せください。

- <http://ez.no/company/contact>
- info@ez.no

本書に関する提案やご意見をお待ちしております。
doc@ez.no までお寄せください。

1.6. 著作権と商標

Copyright © 2006 eZ Systems AS. 本書のコピー、配布、変更は、Free Software Foundation による GNU Free Documentation License, Version 1.2 以降の条件の下で許可されます。本書には GFDL で規定されている「変更不可部分」、表紙テキスト、および裏表紙テキストはありません。このライセンスのコピーは「GNU Free Documentation License」で取得できます。

本書に記載された他の製品名と企業名は、対応する各社の商標である可能性があります。本書では、商標所有者の利益のために商標名を編集して使用しています。従って、これらの名前には商標記号が付いていません。商標として認識されているすべての用語は、最初の文字を大文字で表します。この使用の厳密性についての保証はありません。また、本書における用語の使用は、商標またはサービスマークの有効性に影響を与えないものとします。

2. Website Interface のインストール

Website Interface をインストールするには、最初に Web サーバーにパッケージをインストールし、データベースを設定します。このプロセスは、通常のバージョンの eZ Publish をインストールする場合と同様です。

2.1. 要件

最初に、Web サーバーがシステム要件を満たしていることを確認します。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/installation/normal_installation/requirements_for_doin_g_a_normal_installation

Apache Web サーバーの設定で「リライト規則」が構成されていることを確認します。これらの規則は、多言語サイトで eZ Publish が他の言語へのリンクを解釈する場合に使用します。リライト規則については、次の URL を参照してください。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/installation/virtual_host_setup

Website Interface の要件（ブラウザのバージョンなど）は、管理者インターフェースと同様です。

http://ez.no/doc/ez_publish/user_manual/3_9/the_administration_interface

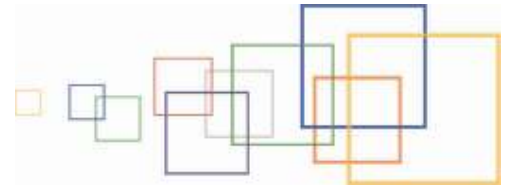
Online Editor (Website Interface、管理者インターフェース共に使用) にはより細かい要件が設定されています。

http://ez.no/doc/extensions/online_editor/4_x/requirements

2.2. Linux/UNIX へのインストール

システムが要件を満たしていることを確認した後、次の URL の説明に従ってソフトウェアをインストールします。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/installation/normal_installation/installing_ez_publish_on_a_linux_unix_based_system



最初の手順では、eZ Publish 用のデータベースを作成します。次に、配布用の eZ Publish をダウンロードし、解凍し、インストールします。セットアップ・ウィザードを起動する準備ができたなら、「3. セットアップ・ウィザードの実行」にお進みください。

2.3. Windows へのインストール

システムが要件を満たしていることを確認した後、次の URL の説明に従ってソフトウェアをインストールします。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/installation/normal_installation/installing_ez_publish_on_windows

最初の手順では、eZ Publish 用のデータベースを作成します。次に、配布用の eZ Publish をダウンロードし、解凍し、インストールします。セットアップ・ウィザードを起動する準備ができたなら、「3. セットアップ・ウィザードの実行」にお進みください。

3. セットアップ・ウィザードの実行

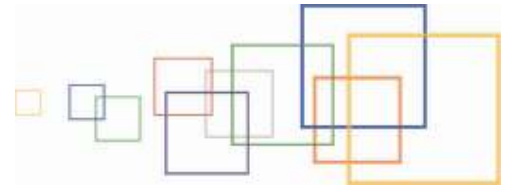
Website Interface は、通常の eZ Publish セットアップ・ウィザードを使用してインストールします。セットアップ・ウィザードのドキュメントは次の URL にあります。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/installation/the_setup_wizard

eZ Publish セットアップ・ウィザードを起動するには、URL、<http://example.com/index.php> を参照してください。ここで、「example.com」は eZ Publish をインストールした Web サーバー名です。

Website Interface をインストールする場合は、次の点に注意してください。

- **ウエルカム ページ:** eZ Publish セットアップ・ウィザード のウエルカムページには、ラベル「**Finetune**」が付いたボタンがあります。このオプションは、eZ Publish のインストール経験が豊富な方向けです。通常は「次へ」ボタンをクリックしてください。
- **サイト・パッケージ:** このページには、<http://packages.ez.no/ezpublish/3.9/> の中から使用可能なすべてのサイトパッケージが表示されます（このページにパッケージが表示されない場合は、使用しているマシンからインターネットにアクセスできることを確認してください）。「**Website Interface**」という名前のパッケージを見つけ、その横のラジオボタンを選択して「次へ」をクリックします。
- **サイト詳細:** ユーザーパス・フィールドと管理者パス・フィールドは「サイトアクセス」を示します。サイトアクセスは、Web サイトの外観と動作を設定する構成要素の集まりです。たとえば、これらの設定によって、使用する設計や表示する言語が決まります。eZ Publish のインストール先には、管理者インターフェース用のサイトアクセスに加えて、言語ごとに 1 つずつ、複数のサイトアクセスが含まれることがあります。
 - Web サイトの「**タイトル**」をサイトのブラウザや検索エンジンの結果に表示される名前に変更します。
 - サイト url フィールドは、サイトを別の場所に移動する場合にのみ変更する必要があります（このような場合は、オンライン ドキュメントで手順を確認してください）。
 - ユーザパス・フィールドには、訪問者が Web サイトにアクセスするときのデフォルトとして使用されるサイトアクセスの名前が含まれます。デフォルトの言語として英語を選択した場合は、デフォルトのユーザー パスは「eng」になります（たとえば、「<http://www.example.com>」の要求は「<http://www.example.com/eng/>」にリダイレクトされます）。
 - 管理者パスを指定する必要はありません。これは、Website Interface を使用する eZ Publish サイトがデフォルトの管理パスを利用するからです。
（「http://www.example.com/ezwebom_site_admin/」）
- **サイト管理者:** これは、eZ Publish サイトのデフォルトの管理ユーザーです。追加アカウントの作成（日常的に使用する非管理アカウントも含む）については、『ユーザー ガイド 日本語版』で説明しています。すべ



てユーザー アカウントには、一意の電子メール アドレスが必要です。したがって、後で通常のユーザー アカウントに使用する予定がある電子メールアドレスを 管理者ユーザーに使用しないでください。

3.1. サイトへのアクセス

ご自分の Web サイトにアクセスするには、インストール時に構成した URL を入力します。たとえば、Web サイトのアドレスとして「<http://example.com/>」と指定した場合は、この URL を入力してサイトにアクセスします。

初めて Web ページにアクセスする場合は、通常よりも長い時間がかかることがあります。これは、アクセスする各ページのキャッシュが作成されるからです。一度キャッシュが作成されると、その後のページへのアクセスは高速化されます。

ご自分のサイトの 管理者インターフェース にアクセスするには、URL 「http://www.example.com/ezwebin_site_admin/」をブラウザにロードします。

4. Website Interface のアップグレード

Website Interface は、拡張モジュール(エクステンション)であり、eZ Publish とは別にダウンロードされ、アップグレードされることがあります。その際には、Website Interface をアップグレードする前に、eZ Publish の対応バージョンも確認した上でともにアップグレードして下さい。

eZ Publish のバージョン	Website Interface のバージョン
3.8.6	1.0 (eZ Publish とのバンドルインストール)
3.9.0	1.1
3.9.1	1.1- 1 (パッチリリース)
3.9.2	1.2

* 日本語版では、eZ Publish バージョン 3.9.2、Website Interface バージョン 1.2 以降の提供です。

使用している Website Interface のバージョンを確認するには、eZ Publish ルートディレクトリの、<extension/ezwebin/ezinfo.php> ファイルの内容を表示してください。

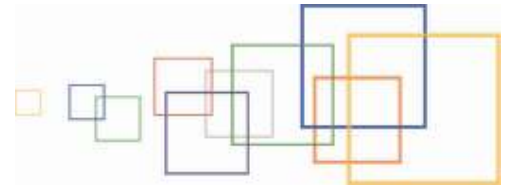
eZ Publish のアップグレードは、http://ez.no/doc/ez_publish/upgrading をご覧ください。

eZ Publish アップグレード概要の中にも記述があるように、アップグレードを開始する前には必ずデータベースのバックアップを取ってください。また、Website Interface のサイト特有の情報を納めている下記のディレクトリのバックアップを行うことをお勧めします。

- `design/ezwebin_site`
- `extension/ezwebin`
- `var/storage/packages/ez_systems`

4.1 バージョン 1.2 へのアップグレード(日本語版では、読み飛ばしてください。)

下記に記述されているシナリオは、Website Interface の過去のバージョンから 1.2 へのアップグレードに利用できます。上記されているように、必ず eZ Publish を 3.9.2 へまずアップグレードして下さい。



利用出来る方法

- レポジトリからパッケージのダウンロードを行う、アップグレードスクリプトを実行
- 手動でパッケージをダウンロードした後に、パッケージの解凍及び、ダウンロードしたパッケージを使用するようにアップグレードスクリプトを実行。(Unix/Linux 限定)
- 手動でパッケージをダウンロードし、手動で解凍した後に、解凍されたパッケージを使用するようにアップグレードスクリプトを実行。

手動でダウンロードされたパッケージをアップグレードするには:

1. パッケージを http://ez.no/download/ez_publish/ez_publish_3_stable_releases/3_9/packages からダウンロードする。デフォルト設定では、アップグレードスクリプトが /tmp/ezwebin ディレクトリでパッケージを探します。但し、アップグレードスクリプトの `package-dir` を使用することで、別のディレクトリを指定することが出来ます。Unix/Linux 上でアップグレードしている場合は、この時点でアップグレードを進めることが出来ます。そうでない場合は、以下に説明されている手順でファイルを解凍してください。
2. 下記のコマンドを使用し、パッケージを `var/storage/packages/ez_systems` に解凍してください。

```
tar xvfz <package_name>
```

結果、下記の様にディレクトリが構成されます。

```
ezwebin_banners/  
ezwebin_classes/  
ezwebin_democontent/  
ezwebin_design/  
ezwebin_extension/  
ezwebin_site/
```

他のディレクトリにファイルを解凍した場合は、アップグレードスクリプトの `repository` スイッチを利用してロケーションを指定してください。

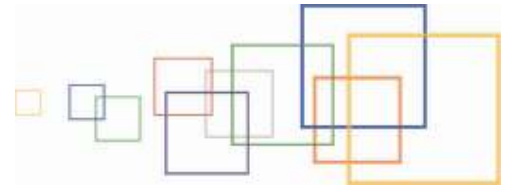
4.1.1 アップグレードスクリプトの実行

Website Interface のアップグレードスクリプト `bin/php/ezwebinupgrade.php` をコピーし、eZ Publish のルートディレクトリに移動してください。下記の方法でアップグレードスクリプトを起動してください。

```
$ ./bin/php ezwebinupgrade.php -s <your_siteaccess>
```

`-s <your_siteaccess>` スイッチはオプションです。特に指定がない場合は、デフォルトサイトアクセスの (`site.ini.[SiteSettings].DefaultAccess`) が使用されます。 `./bin/php/` をご自分の PHP インストールへのパスのものと置き換えてください。

以下のスクリプトオプションが利用可能です:



- **repository:** 圧縮されたアップグレードパッケージが保存されているローカルレポジトリ配置先へのパス。特定されていない場合は、`var/storage/packages/ez_systems` が使用されます。
- **package:** インストールするパッケージ及びパッケージリスト。(例: `ezwebin-classes`) 特定されていない場合は、デフォルト値の `ezwebin_classes ezwebin_extension ezwebin_banners ezwebin_democontent ezwebin_design` が使用されます。
- **package-dir:** パッケージが保存されているディレクトリへのパス(ファイル拡張子の場合、`".ezpkg"`)。特定されていない場合は、デフォルト値の `/tmp/ezwebin` が使用されます。
- **url:** リモートパッケージレポジトリへの URL。

(例: <http://packages.ez.no/ezpublish/3.9/3.9.2>)

このオプションが特定されていない場合は、スクリプトは自動的にパッケージをこのアドレスからダウンロードします。ダウンロードしたパッケージを保存する場所を特定するには、`package-dir` オプションを利用してください。`package-dir` が特定されていない場合は、デフォルト設定の `/tmp/ezwebin` が使用されます。

パッケージレポジトリに関する情報は、こちらをご参照ください。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_9/features/packages#system_repository

スクリプトが Website Interface を使用するサイトアクセスを尋ねます。(この際には、一つ一つのサイトアクセスを、スペースで区切って指定してください。)また、インストールしているバージョンとアップグレードに含まれるパッケージの間に障害がある場合は、警告が表示されます。

アップグレードの完了後に、eZ Publish ディレクトリのルートから下記のコマンドを起動し、キャッシュをクリアしてください。(Linux/Unix のみ)

```
bin/shell/clearcache.sh -clear-all
```

ファイルまたは、ディレクトリのアクセス制限が設定されているために、スクリプトがキャッシュのクリアを実行できないことがあります。`var` ディレクトリ内のキャッシュサブディレクトリのアクセス権を確認した上で、このスクリプトを実行し、全てのキャッシュがクリアされていることを確認してください。

Windows ユーザーは、以下のディレクトリの内容を手動で削除することにより、キャッシュをクリアする必要があります。

- `var/cache/*`
- `var/ezwebin_site/cache/*`

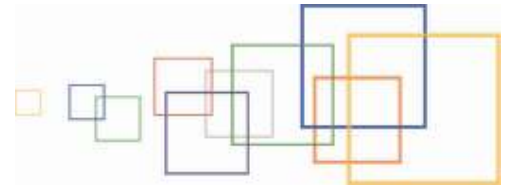
5. eZ Publish の構成

構成タスクには次の 2 つのクラスがあります。

- Website Interface を使用して行う、サイト固有のシンプルな構成 (サイトのロゴや標準ボタンラベルなど)
- 管理者インターフェースを使用して行う全機能構成 (ユーザー管理やバナーの作成など)

Website Interface を通じて使用できる構成オプションは 管理者インターフェースの場合と同じです (デザインセクション)。一般に、本書では管理者インターフェースの機能については説明しません。詳細については、次の『eZ Publish オンラインユーザーマニュアル』を参照してください。

http://ez.no/doc/ez_publish/user_manual/3_9/the_administration_interface



Website Interface を通じて、サイト設定を表示、変更するには、インストール時に構成した管理者ユーザーとしてサイトにログインするか、「管理者」グループのメンバーである他のユーザーアカウントを使用してログインします（ユーザーとグループについては、『ユーザーガイド日本語版』を参照してください）。デフォルトのサイトスタイルを使用している場合は、すべてのページの右上隅に「**ログイン**」リンクが表示されます。

5.1. RSS フィードの構成

ご自分のサイトから RSS フィードに登録する機能を訪問者に提供する場合は、管理者インターフェースを使用して RSS エクスポートフィードを作成する必要があります。最初に、ユーザー名「admin」とパスワードを使用して管理者インターフェースにログインします。次に、水平のナビゲーションメニューに表示される「**システム設定**」リンクをクリックし、左側のナビゲーションメニューから「**RSS**」を選択します。既存の RSS エクスポートとインポート（ある場合）のリストが表示されます。

RSSエクスポート [1]

	名前	バージョン	ステータス	修正者	修正日時	
<input type="checkbox"/>	My RSS Feed	2.0	有効	Smith_john	2007.06.11 7:49 pm	

選択項目の削除

新規RSSエクスポート

RSSインポート [0]

RSSインポートは未定義です。

選択項目の削除

新規RSSインポート

「**新規 RSS エクスポート**」ボタンをクリックして、サイトの Web ページに組み込むことのできる RSS フィードを作成します（次に説明するように「**サイト設定**」を使用します）。

RSS エクスポートには次の属性が含まれます。

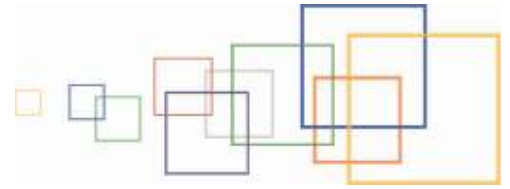
名前: フィードの名前。

概要: フィードの簡単な説明。

サイト URL: ご自分のサイトの基本 URL (セットアップ・ウィザードの「**サイト詳細**」ページで指定したもの) を入力します。この結果、「**サイト URL**」(つまり「http://www.example.com/」) と個別のオブジェクトへのパス (「/articles/my_article」など、ソースで構成) を組み合わせて作成された URL リンクがエクスポートに生成されます。Site URL は、Web サーバーと eZ Publish の構成によって異なります。

画像: RSS フィードと Web サイト、またはそのいずれかを表すサムネイル画像。推奨の寸法は 64 × 64 ピクセルです。

RSS バージョン: 現時点では、RSS プロトコルには 2 つのバージョン、1.0 および 2.0 があります。RSS



の詳細については、Wikipedia ([http://en.wikipedia.org/wiki/RSS_\(file_format\)](http://en.wikipedia.org/wiki/RSS_(file_format))) を参照してください。eZ Publish は両方のバージョンをサポートしています。使用する RSS フィードの形式を選択します。一般に、古いクライアントをサポートする必要がない場合は、バージョン 2.0 を使用します。

オブジェクト数: RSS フィードに含めるオブジェクトの数を指定します。RSS クライアントとのパフォーマンスの問題を防ぐために、この数値は大きくしすぎないようにしてください (10 ~ 20 など)。

有効: RSS フィードのアクティブ化と非アクティブ化は、このコントロールを使用して行います。フィードが非アクティブ化されているにもかかわらず、サイトの設定で参照されている場合は、ユーザーの RSS クライアントに eZ Publish のカーネル エラーが表示されます (「kernel (3) / Error, The requested page could not be displayed.(3)」など)。

主要ノードのみ: このオプションを有効にすると、オブジェクトの「メイン」ノードに対する変更だけがフィードに追加されます。たとえば、コンテンツ ツリーにおいて記事に 3 つの「場所」がある場合を考えます。これらの各場所について RSS が有効になっている場合は、記事は 3 つのフィードに追加されます。

アクセス URL: このオプションは、この RSS フィードに対する URL を指定します。

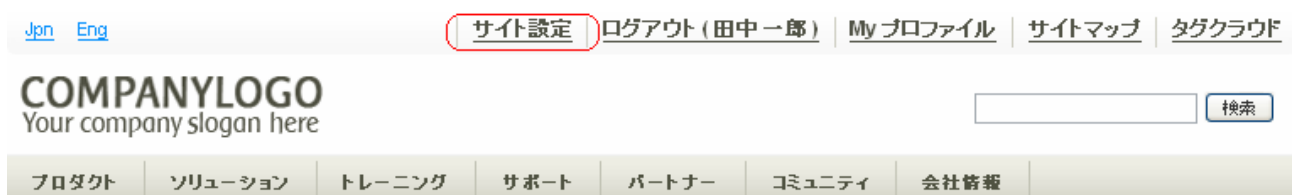
ソース 1: 各 RSS フィードには、RSS フィードに追加される複数のソース ノードが含まれます。デフォルトでは、1 つのソースノード (ソース 1) を構成するためのフィールドが表示されます。その他のノードを追加するには、「ソースの追加」ボタンをクリックします。既存のソースをフィードから消去するには、「このソースを削除」をクリックします。

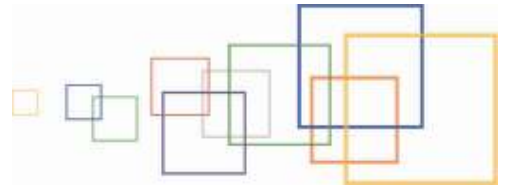
ソースを構成するには、次のようにフィールドにデータを入力します。

- **ソースのパス:** フィード項目の収集元となるコンテンツ ツリー内の場所。
- **サブノード:** コンテンツ階層の **ソースのパスノード**の下にあるノードをフィードに含めるかどうかを指定します。
- **コンテンツのクラス:** フィードに追加する必要があるコンテンツ クラスを指定します。複数のコンテンツ クラスを指定するには、「ソースの追加」ボタンをクリックして同じ URL を指定し、別のコンテンツ クラスを指定します。
- **タイトル:** 要素のタイトルとして使用されるコンテンツ オブジェクトの属性を指定します。もっとも一般的なタイトル属性は「タイトル」、「名前」、「短縮名」ですが、別のコンテンツ クラスでは他の属性が使用されることもあります。
- **概要:** 要素の説明として使用されるコンテンツ オブジェクトの属性を指定します。もっとも一般的な説明属性は「要約」、「概要」、「サマリ」ですが、別のコンテンツ クラスでは他の属性が使用されることもあります。

5.2. サイト設定の編集

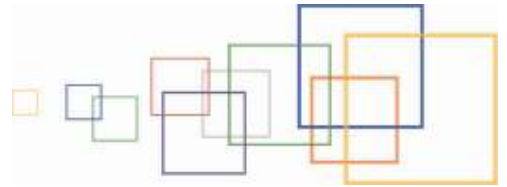
「管理者」グループのメンバーであるユーザーとしてログインすると、すべてのページの右上隅に「**サイト設定**」リンクが表示されます。





5.2.の画像は日本語サイト作成を前提に Website Interface のサイト設定でメニュー表示を変更しています。デフォルトでは英語表示のままですのでご注意ください。

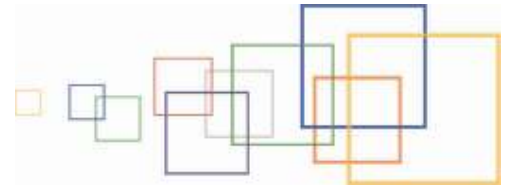
変更する際は「サイト設定」をクリックし編集画面を開きます。以下の赤枠を任意の文字に変更し「送信して公開」をクリックしてください。



編集 Template look - Website Interface

Title	<input type="text" value="Website Interface"/>										
Site map URL	<input type="text" value="/content/view/sitemap/2"/>										
テキスト:	<input type="text" value="サイトマップ"/>										
Tag Cloud URL	<input type="text" value="/content/view/tagcloud/2"/>										
テキスト:	<input type="text" value="タグクラウド"/>										
Meta data	空の配列を作成: <input type="checkbox"/> author=eZ systems copyright=eZ systems description=Content Management System keywords=cms, publish, e-commerce, content management, development framework										
Login (label):	<input type="text" value="ログイン"/>										
Image	現在の画像: <table border="1"> <thead> <tr> <th>プレビュー</th> <th>ファイル名</th> <th>MIME タイプ</th> <th>サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>website_interface1_logo.png</td> <td>image/png</td> <td>8.70 kB</td> </tr> </tbody> </table> <input type="button" value="削除/編集"/> 新規画像ファイルのアップロード: <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> 画像の代替テキスト: <input type="text"/>			プレビュー	ファイル名	MIME タイプ	サイズ		website_interface1_logo.png	image/png	8.70 kB
プレビュー	ファイル名	MIME タイプ	サイズ								
	website_interface1_logo.png	image/png	8.70 kB								
Logout (label):	<input type="text" value="ログアウト"/>										
Sitestyle	サイトアクセス: <input type="button" value="グローバル(オーバーライド)"/>  <input type="button" value="eZ Publish Website Interface design:"/>										
My profile (label):	<input type="text" value="My プロファイル"/>										
Email	<input type="text" value="admin@example.co.jp"/>										
Register new user (label):	<input type="text" value="ユーザ登録"/>										
Site URL	<input type="text" value="localhost/ezpublish/index.php"/>										
RSS feed:	<input type="text" value="/rss/feed/my_feed"/>										
Shopping basket (label):	<input type="text" value="ショッピングバスケット"/>										
Site settings (label):	<input type="text" value="サイト設定"/>										

次の構成オプションを使用できます。



5.2.1. タイトル

サイトの名前。通常は Web ブラウザのタイトルバーに表示されます。

5.2.2. サイトマップ URL

ご自分のサイトへの訪問者がアクセスできるサイトマップを作成するには、次のフィールドにデータを入力します。

URL: サイトマップモジュールへの URL で (デフォルトでは「/content/view/sitemap/」)、サイトマップを「描く」ときにルートノードとして使用するノードとともに追加します。デフォルトのノード番号は「2」で、コンテンツツリーのルートノードを指します。

テキスト: 訪問者に表示されるリンクのテキスト (通常は「サイトマップ」)。

5.2.3. ログイン (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置されるログインリンクのテキストです。このフィールドが空白の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、「サイト設定」ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.4. メタ・データ

メタ データは、検索エンジンなどのエンティティにより、サイトの索引付けや分類に使用される一般情報です。サイトをわかりやすく説明するために、このテキスト フィールドの値を変更することができます。メタ データの詳細については、Wikipedia (http://en.wikipedia.org/wiki/Meta_data) を参照してください。

メタ データを格納する配列の既存のコンテンツをクリアするには、「空の配列を作成」をオンにします。

5.2.5. ログアウト (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置されるログアウト リンクのテキストです。このフィールドが空白の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、**サイト設定**ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.6. 画像

この画像はサイトのロゴで、デフォルトでは各ページの左側、水平メニューの上に表示されます。サイトのロゴを変更するには、「参照」ボタンと「画像の削除」ボタンを使用します。

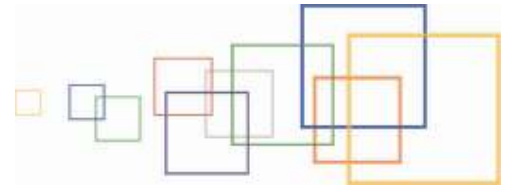
- 画像の代替テキスト: 画像を説明する数個の単語を入力します (Web のアクセシビリティ標準に準拠するために必要)。

5.2.7. My プロファイル (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置される、ユーザー プロファイルに対するリンクのテキストです。このフィールドが空白の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、「**サイト設定**」ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.8. スタイルシート

このセクションの設定は、一般的なサイト設定に使用されます。これらの設定はサイトアクセスごとに個別に設定できますが、その意味を理解している場合を除き、これらの設定を Global(オーバーライド)サイトアクセスに適用することをお勧めします (つまり、すべてのサイトアクセスがこれらの設定を共有します)。



- サイトアクセス: この設定の適用先のサイトアクセスを選択します。
- サイトスタイルパッケージ: サイトに使用するサイト スタイル パッケージを選択します。『カスタマイズ マニュアル日本語版』で説明するように、サイトスタイルパッケージは、管理者インターフェース を通じて作成し、インポートします。

5.2.9. 新規ユーザー登録 (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置される、ユーザーの自己登録ページに対するリンクのテキストです。このフィールドが空白の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、「**サイト設定**」ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.10. Email

システム管理者の電子メール アドレス。これは、Web ショップでの注文通知など、サイトからの自動生成メールに使用します。

5.2.11. RSS フィード

ご自分の RSS フィードに対する URL を指定します。この URL は、ブラウザに送信される XHTML ストリームに挿入されるので、訪問者はニュースを取り出し、RSS クライアントを使用して直接更新できます。URL を確定するには、管理者インターフェースの RSS フィード オブジェクトの「アクセス URL」属性を参照します。サイト設定で RSS フィールド内部のテキストを削除すると、そのサイトは XHTML ストリームで前述のリンクを送信しません。

5.2.12. 買い物かご (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置される、買い物かごに対するリンクのテキストです。このフィールドが空白の場合、またはユーザーの買い物かごが空の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、「**サイト設定**」ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.13. サイト URL:

Web サイトの URL。

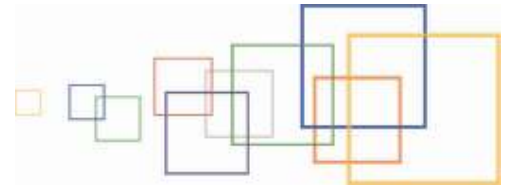
5.2.14. サイト設定 (ラベル)

各ページの右上隅にデフォルトで配置される、この設定ページに対するリンクのテキストです。このフィールドが空白の場合は、リンクは表示されません。マルチリンガルサイトの場合、訪問者によって選択された言語でラベルを表示するには、「**サイト設定**」ページを希望の言語に翻訳し、追加してください。

5.2.15. 言語の設定

インストール時に、サイトでサポートする言語の指定を求めるメッセージが表示されます。各言語について個別の「サイトアクセス」が作成され、指定の言語がデフォルトとして設定されています。サイトを表示する言語は、各ページの左上隅にデフォルトで表示されるリンクをクリックして変更できます。サイトの言語を変更すると、現在表示しているページの言語が、新たに選択した言語に変わります (そのページについて翻訳済みのコンテンツがある場合)。

サイトアクセスの名前は、インストール時に選択した言語のコードに基づいて指定されます。英語の場合は「Eng」、フランスの場合は「Fre」のようになります。また、日本語の場合は、「Jpn」となります。サイトアクセスの



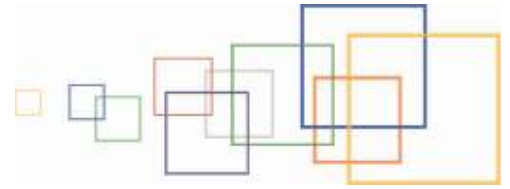
言語名を変更すると、ユーザーに対して表示されるテキストが変わります。たとえば、Catalan をインストールした場合は「**Language name**」が「Cat」になりますが、これを「Spanish」に変更できます。右側の列の「**Language name**」を変更します。中央の列のサイトアクセス コードは変更しないでください。左側の列はサイト URL の格納に使用します。セットアップ・ウィザード の実行時にサイトへのアクセス方法として URL の使用を指定した場合は、すべての行に同じサイト URL (「www.example.com」) を入力します。ポートベースのサイトアクセスを指定した場合は、そのサイトアクセスに対応する URL を入力します (「www.example.com:81」など)。サイトへのアクセス方法としてホスト名の使用を指定した場合は、そのサイトアクセスに対応するホスト名 (「english.example.com」など) を入力する必要があります。

Language settings

	Site URL	Siteaccess	Language name
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="www.example.com"/>	<input type="text" value="eng"/>	<input type="text" value="Eng"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="www.example.com"/>	<input type="text" value="fre"/>	<input type="text" value="Fre"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="www.example.com"/>	<input type="text" value="ger"/>	<input type="text" value="Ger"/>

サイトのインストール後に別の言語を追加するには、新規のサイトアクセスを手作業で作成する必要があります。

1. 新規のサイトアクセスで 1 次言語として使用する言語の正しい言語コードを見つけます (フィンランド語場合は「fin」など)。
2. デフォルトのサイトアクセスを新規のサイトアクセス ディレクトリにコピーします。たとえば、`/settings/siteaccess/eng` を `/settings/siteaccess/fin` にコピーします。
3. 新しいサイトアクセス ディレクトリで `/settings/siteaccess/fin/site.ini.append.php` を編集用に開きます。
4. [RegionalSettings] セクションで、次の設定を「fin-FI」に変更します。
 - Locale
 - ContentObjectLocale
5. [RegionalSettings] セクションで、「fin-FI」が先頭になり、2 次言語 (英語など) が 2 番目になるように配列 `SiteLanguageList` を変更します。
6. 次に、グローバル版のサイト設定ファイルにアクセスします (`/settings/override/site.ini.append.php`)。
 - [SiteSettings] セクションで、新規のサイトアクセスを `SiteList` 配列に追加します (`SiteList[]=fin`)。
 - [SiteAccessSettings] セクションで、新規のサイトアクセスを `AvailableSiteAccessList` 配列に追加します (`AvailableSiteAccessList[]=fin`)。
 - [SiteAccessSettings] セクションで、新規のサイトアクセスを `RelatedSiteAccessList` 配列に追加します (`RelatedSiteAccessList[]=fin`)。
7. Website Interface の「**サイト設定**」ページで、左側の列に URL、中央の列に言語コード、右側の列にリンクのラベルが含まれる行を Language settings テーブルに追加します。



8. キャッシュをクリアします。管理者インターフェース で「システム設定」ボタンをクリックし、「すべてのキャッシュをクリア」ボタンをクリックします。

9. ページを再ロードして、新しい言語リンクをテストします。

5.2.16. フッターテキスト

各 Web ページの下部、テキスト「Powered by」の真上に表示されるテキストで、著作権情報に使用することを目的としています。デフォルトのテキストは「Copyright (c) ; 2006 eZ systems AS. All rights reserved.」です (「©」は著作権記号の HTML エンティティ)。

5.2.17. “Powered by”の非表示

デフォルトでは、サイトが eZ Publish で実行されていることを示す 2 つの行が各ページの下部に表示されます。この情報を非表示にするには、このボックスをオンにします。

<p>Zend認定試験</p> <p>PHPの知識と技術力を証明することができる世界統一の認定資格です。Zend PHP Certification を取得することによって、PHPの技術スキルを証明することが可能となります。</p>	<p>PHP5+MySQLによるWebアプリケーションマスターコース</p> <p>「PHP5+MySQLによるWebアプリケーションマスターコース」は、PHPの基礎からWebアプリケーション構築までのマスターを目的としたeラーニングコースです。</p>	<p>ハンズオン・セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> › Zend Framework Code Camp › eZ Publish Developer Basics
<p>PHP+MySQLによるWebアプリケーションマスターコース</p> <p>「PHP+MySQLによるWebアプリケーションマスターコース」は、PHPの基礎からWebアプリケーション構築までのマスターを目的としたeラーニングコースです。</p>	<p>Zendオフィシャル・トレーニング・センター</p> <p>Zend Authorized Training Centerは、Zend PHP Certificationの取得を目的とした良質のトレーニングコースを提供する教育機関を認定する制度です。</p>	

Copyright © 2007 eZ systems AS. All rights reserved.
 Powered by **eZ Publish™** Content Management System.

5.2.18. Java スクリプトフッター

各ページのフッターに Java スクリプトスニペットを追加するには、このフィールドにコードを入力して下さい。